

早寝・早起き・朝ご飯＋運動で生活のリズムを整えましょう！

生活指導だより
第57号

そろえる

溝辺中学校
令和5年10月16日発行

先輩講話を実施 4名の卒業生が来校し、後輩へアドバイスを送る

二年前から行われた先輩講話。本校を卒業し、高校や大学社会人で活躍されている先輩の体験談や進路選択の悩みや上級学校での生活を聴くことで、自分自身の進路選択の一助にすることを目的で行われました。

4名の先輩方は、自身の進路選択の悩みや受験の際に意識したこと、効果的だった勉強法、現在の高校生活や大学生活の様子、仕事をするとき意識していることなどについて熱心に語ってくれました。熱心に講話を聴いた生徒からも積極的に質問が出されていました。これからもぜひ、地域の先輩方や保護者、卒業生から話を聴いて、これからの学校生活や進路決定に活かしてくださいね。



さん 蒲生高等学校 2年生

中学生の頃は、うざいとか思うかもしれないが、先生方や親の言うことをちゃんと聴いてやっておけばよかった。と思う。受験生として、たまには頑張っていると思ってもいい。

私立入試1月、公立入試3月で約2ヶ月の差がある。受験勉強を早く終わらせたいという気持ちで私立へ進学して通学などで後悔した友だちもいる。今の気持ちだけで判断するのは違う。「先輩講話」のこの時期くらいから受験に向けた雰囲気がクラスでできてきた。自分の自信をもてることを見つけてください。先輩講話の先輩のことばで自信がついた。私が中学校生活で自信がもてたことは、生徒会活動だった。一番言いたいことは、楽しむことをしてほしい。人それぞれ楽しみは違う。勉強頑張れた！行事が楽しい！楽しいと思える行動ができたらいいなあ！人数が少ないからこそできることもある。

Q 蒲生高校を決めた理由

A 体験入学へ3校くらい行って、自分に合っていると思った。



さん 鹿児島工業高等学校 2年生

鹿児島工業、宿題は基本的になく、部活動に集中できる環境がある。通学は、6:15自宅発 7:00鹿児島中央 自転車で登校。校則はとくに厳しくない、月に1回頭髪検査がある。学食があり。比較的安い。野球部のキャプテンしている。文武両道 就職内定率21年連続100%

中学校生活の思い出はコロナ禍の体育大会。授業中に集中して勉強していた。進路決定は、高校でも野球と勉強を両立できる高校を選んだ。3年生のスタートには鹿児島工業へ行きたいと思った。受験勉強で頑張ったことは、国語が苦手だったので、国語の先生へ協力してもらって読解力のトレーニングを頑張った。受験勉強は、ON・OFFのメリハリが大事。気合が入ったときにしっかりがんばった。休めるときは休んだ。受験では、友だちをつくった。少ない学校から1000人近くの学校へ進学。

就職希望 成績上位の人から決まるので、勉強を頑張っている。

最後に 工業高校へ進学するなら、数学、物理系の学習をしっかりしてほしい。就職活動ではコミュニケーション能力が大切。自分の考えをしっかりと伝えることが大事。

Q 今しておいてほしいことは

A 勉強、入ることが大事。



さん 鹿屋体育大学 1年生

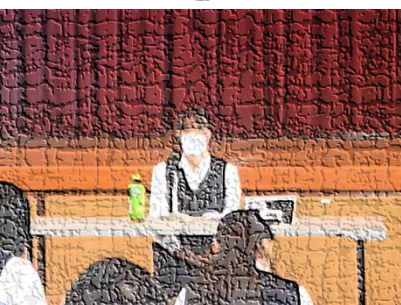
4年前の卒業生、鹿屋体育大学在籍。全国で唯一の国立の体育大学でアジア大会やかごしま国体で在校生が活躍している。野球部の員数は、76名。授業はスポーツ心理学や教員課程、専門的な学習をしている。大学に入ると自由な時間が多い。自分で夢実現のためにやるべきことを選択することが大事

中学校時代、私立の高校で野球をするつもりだったが、中3のときケガや野球だけではだめと思い勉強も頑張った。中学校時代は、社会が好きだったので社会の先生になろうと思った。そのために将来の選択肢を広げるために普通科の加治木高校で視野を広げようと思った。

中学校時代に意識したことは、授業で理解しようと思った。宿題を徹底して出した。効率よく勉強しようと思った。受験勉強中も運動してリフレッシュして、睡眠時間をしっかりとった。早く起きて朝に勉強していた。高校時代は、文武両立を意識していた。クラス替えが楽しかった。加治木高校は勉強だけはなかった。部活も行事も充実していた。高2で文理選択があった。このとき中学校の地歴か体育の先生になろうと思って、文系を選択した。練習試合や合同練習でこの鹿屋体育大学の雰囲気を見てこの大学へ進学しようと思った。高校生活で大変だったことは、共通テストとそれに向けた勉強で、7限目まであり、20時くらいまで残って勉強していた。苦にはならなかった。

最初に、夢がある人は、それを実現するためのそのために努力してほしい。進路について、まずは、興味があることを大切にしてほしい。目標は高くもってほしい。最初からあきらめないでほしい。失敗をたくさんしてほしい。最後にこれから進路・夢について悩むことがある。周りにとらわれずに、自分できめたことに邁進してほしい。

Q どんな勉強をしていたか？ A 復習を中心に行っていた。



さん 加治木看護専門学校

今回、このような機会を設けていただきありがとうございました。加治木看護学校は、高校を卒業して3年間勉強をして、看護師の国家資格をとる学校です。なぜこの進路を決めたかという、高校3年生のときに学校の先生へなるか、看護師になるか悩んでいたときに、加治木看護学校にチューター制度があることを知りこの学校に決めました。高校時代に仲間と交流する楽しいこと

もあった。ダンス初心者だったが友だちに教えてもらい楽しい3年間だった。今でも交流がある。高校受験のとき、合格するか微妙な成績だった。部活を早く切り上げて塾に行っていた。がむしゃらにボールを追いかけていた。最後の大会では、レギュラー。簡単に折れない気持ちが身に付いた。

塾では、テキストを何度も繰り返し解いていた。分からないことをそのままにしない。友だちや先生方に聞いていた。塾に入ったのは、加治木高校へ入るという明確な目標があったので勉強を頑張れた。大事なことは、メリハリのある生活。スマホやゲームは時間を決めて行う。苦手な教科はあっても嫌いな教科はつくりたくないこと。嫌い決めたら、勉強に消極的になる。進路選択で大事なことは 自分が何に興味があるか、何をしたいかを考えてほしい。

Q 中3は何時間勉強していたか？

A 最低でも1日6時間以上していた。合間にストレッチなどしてリフレッシュしていた。